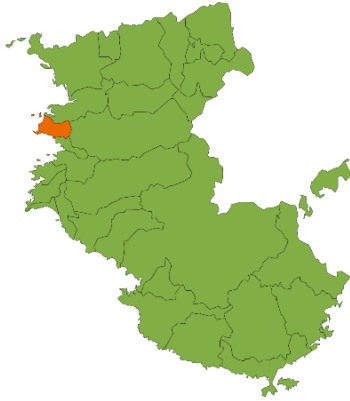


和歌山県有田市

青みかん（摘果みかん）の価値を上げる



【地域の基礎データ】

人口：26,027 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

高齢化率：34.5%（令和 3 年 1 月 1 日現在）

産業：農業（みかん）、漁業（太刀魚）、工業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：15 名（1 回生：3 名、2 回生：6 名、3 回生：6 名）

活動期間：令和 2 年 6 月～

担当教員：藤田武弘

1. 活動実施の経緯

有田市では地域住民や一般企業などと協働して有田みかんの更なるブランド化や販路開拓支援、ふるさと納税を活用した PR など、みかん産業支援を積極的に実施している。そこで、これまで実施してきた取り組みを踏まえた新たなチャレンジとして、毎年みかん収穫前にみかんの大きさを揃えるために成りすぎた果実を減らす作業（摘果作業）によって捨てられている「青みかん（摘果みかん）」の価値向上に取り組むことを LIP の活動目的とした。また、令和 2 年 3 月に有田市宮原町の旧駐在所をリノベーションして誕生した地域交流拠点「宮原さん家(ち)」を活動拠点とし、その活用についても検討することとなった。

2. 活動の内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインと現地訪問を上手く活用し、以下の活動を行った。また、地域の課題・学生のニーズを受け、商品開発班・レシピ作成班・イベント企画班・広報班に分かれて積極的な活動を行った。

- ・クラウドファンディングによる活動資金の調達を行った
- ・地域からのアドバイスを受けて青みかんのレシピ・新規商品開発を行った
- ・地元小学校で地域資源活用に関する食育授業を行った（地域での活動可視化に貢献）
- ・他大学等との連携イベントに参加し、活動の普及啓発と交流ネットワーク機会を得た

3. 活動を通じて

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本来予定していた活動が出来なかった中で、オンラインを活用し可能な限りの活動が展開された。また、資金調達や食育を通じた活動の可視化など、プロジェクトが「社会実装化」していくに関わったことで、より大きな学びを得て、メンバーの成長に繋がったと考える。更なる取り組みの展開に期待したい。

4. 成果物（ポスター）



和歌山大学 観光学部 2021年度

宮原青みかんLIP

概要・全体

宮原青みかんLIPは2020年度から始まったLIPで、有田市宮原地区を拠点に活動しています。私たちは①全国的に有名な有田みかんの生産途中で摘果という作業で破棄されてしまう青みかんを有効活用し、価値を再発見するため、②地域の人を巻き込んだイベントを開催し、地域活性化を図っていくためという大きく2つの活動目的を掲げて活動を続けています。今年度は全体の活動として9～10月にクラウドファンディング、11月には大阪天王寺で行われた関西の大学が集まるイベント「ハルカス学園祭」への出展など、様々な活動を行うことができました。各班の活動では、昨年度考えた企画を形にしていく作業や、出た課題を解決することを進めていきました。

レシピ班

レシピ班では、青みかんを使ったレシピ「宮原のメモワール」を考案し、郷土料理化を最終目標にして取り組んでいます。10月に地域の方をお招きして行ったオンラインでの試食会では、「おいしい！」という生の声を聞くことができました。今後も新たなイベントや、新レシピの開発に取り組み、地域の方により親しみを持っていただけるように頑張ります！



商品開発班

商品開発班では、青みかんを活用した様々なものの商品化に向けて活動しています。クラウドファンディングのリターン品として乾燥した青みかんを使ったレジストラップを提案し、作成しました。また、みかんカードや入浴剤の試作も行っています。今後は地域のお店と連携、協力していく予定です。青みかんの利用法がもっと広まり、地域の方にも使っていただけるようにこれからも活動していきます。



イベント班

イベント班は12月に宮原小学校にて青みかん授業を実施しました。子どもたちはみかんに親しみはあるものの、摘果されてしまう青みかんについてはあまり知らないということで、授業では青みかんをどのように活用することができるかについてグループで話し合いました。元気いっぱい小学生からは多くの斬新なアイデアをもらうことができました。今後も地域の子供たちと交流できるイベントを企画・実行していきます！



広報班

広報班は今年度よりSNSの運用を本格的に始めました。今年度の主な活動は、9月から10月にかけて行われたクラウドファンディングの宣伝活動とLIPのロゴ考案です。インスタグラムは現時点でフォロワー285人を獲得しています。今後は、さらなるフォロワーの獲得とフォロワーの皆さんにより私たちの活動を知ってもらえるよう、各班と連携して定期的な投稿を行っていきたく考えています。



今後の展開

今年の1月から、大阪市立大学の学生・OBの皆さんが有田市で活動を行っている「元気ふるさとづくりサポーター」と協働で会議・イベント企画を行っており、来年度には地域で行うイベントや青みかんを使った商品開発を本格的に合同で行っていく予定です。イベント企画や地域との関わり方をLIP側が学べるということ、青みかんの商品・レシピ開発についての経験による資源の活用についてを発信できるという相互的な協働のメリットを活かして、さらに地域に貢献していけるように力を注いでいきたいと思います。